

○鹿部町の火山防災啓発活動の取り組みについて

鹿部町を擁する北海道駒ヶ岳は、昭和4年に大噴火を起こし、町には軽石が1メートル以上も積もるなど甚大な被害を受けました。

近年では平成8年・10年・12年にも水蒸気噴火をおこすなど活発な活動をしていることから、町民の防災意識も高く、各種啓発活動を実施していますので、その一端をご紹介します。

■ 小・中学校の防災教育

鹿部町に各1校ある小学校と中学校では、例年防災教育を実施しています。

小学校は、平成22年から山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター長の吉本 充宏 博士に講師をお願いし、中学校は、避難訓練に合わせて役場の防災担当職員が工夫しながら実施しています。



火砕流地層を説明する吉本博士



コーラとメントスを使ったプリニー式噴火の再現実験



玉入れの玉を使った噴石体験

■ 住民を対象とした防災講演会

鹿部町では住民を対象とした防災啓発の一環として、各種防災講演会を実施しています。

講師は、前述の吉本 充宏 博士やJICAで来日された中南米の火山学者・防災行政従事者、また、町内会等を対象とした出前講座では、役場の防災担当職員が講師を務めています。



吉本博士の講演



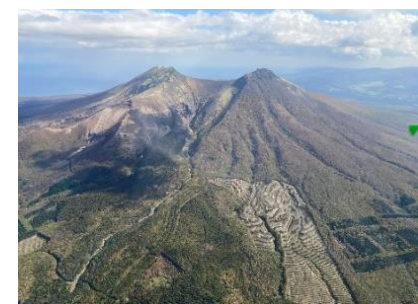
JICAによる講演



リゾート地区住民への出前講座

■ Helによる火山活動状況調査

ヘリコプターから見る北海道駒ヶ岳の火口群



裏面あり



【問合せ先】

北海道 鹿部町 総務・防災課
TEL：01371-7-2111
E-mail：bousai@town.shikabe.lg.jp

事務局（鹿児島市危機管理課）
TEL：099-216-1513

E-mail：kiki-kazan@city.kagoshima.lg.jp

鹿部町の火山防災啓発活動の取り組み内容

1 防災教育

(1) 鹿部小学校

- ① 山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター長 吉本 充宏 博士に講師を依頼して駒ヶ岳火山防災教育を例年実施している。

(平成22年度から毎年実施し、平成30年度から1日防災学校の一環で継続中)

教育内容 5年生：駒ヶ岳の噴火活動、災害の歴史、防災の仕組みについての座学

6年生：出来潤海岸地区の地層見学等を通じ、噴火の仕組みについて学習

- ② 小学5年生児童の駒ヶ岳体験登山及び役場職員の出前授業（平成23年度から毎年実施）

教育内容 駒ヶ岳登山：駒ヶ岳登山の体験を通じ、噴火の痕跡や噴火によって形作られた駒ヶ岳を取り巻く自然環境を体験させる。

出前授業：駒ヶ岳体験登山の体験を、より身近に感じるようコーラを使ったプリニー式噴火の実験など、噴火のメカニズムをわかりやすく学習させる。

(2) 鹿部中学校

- ① 例年実施する避難訓練

訓練内容 駒ヶ岳火山噴火災害を想定した避難訓練と役場職員による講演を例年実施している。

令和2年度講演内容は、「小噴火時の噴石被害について」で、御嶽噴火時の噴石密度に相当（4メートル四方に10個）する噴石を、玉入れの玉で検証。

2 防災啓発活動（講演会等）

(1) 令和元年6月11日 JICA・鹿部町駒ヶ岳火山防災講演会(参加者130人)

- ① 講演内容 「北海道駒ヶ岳の将来の噴火に備えて」

講師 山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター長 吉本 充宏 博士

- ② 講演内容 「2018年フエゴ火山噴火災害報告」

講師 ロドリゲス・トルヒーヨ・ウーゴ・レオネル氏（グアテマラ国 災害対応部長）

- ③ 講演内容 「北海道駒ヶ岳の火山砂防」

講師 北海道渡島総合振興局 函館建設管理部事業室長

(2) 平成30年10月4日 鹿部町駒ヶ岳火山防災講演会(参加者70人)

講演内容 「北海道駒ヶ岳の噴火と最近の噴火災害」

講師 山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター長 吉本 充宏 博士

(3) 平成30年6月10日 ロイヤルシティ鹿部リゾート防災イベント(参加者89人)

講演内容 「北海道駒ヶ岳火山の秘密」

講師 鹿部町 総務・防災課 職員

※ 令和2年度の講演については、コロナ禍により中止

3 ヘリコプターによる上空からの火山活動状況調査

鹿部町・森町・七飯町からなる北海道駒ヶ岳火山防災協議会では、例年、北海道駒ヶ岳の活動状況確認のため、北海道のヘリコプターを活用して、火口の噴気状況等調査・確認を実施している。